

茨城県立こども病院を受診された方へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。
本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

研究課題名	胆道閉鎖症における、肝生検検体中の母親由来細胞の左右両葉間での比較
当院の研究責任者	大谷明夫
他研究機関および 各施設の研究責任者	鹿児島大学医学部小児外科 家入 里志 教授
本研究の目的	胆道閉鎖症の解明を目的としている。とくに肝臓の左右の差に着目する 葛西手術時の肝臓生検を左右から採取し、その病理標本をもちいて種々の 染色をおこない検討する。とくにマクロファージという細胞の分布に着目 する。それでもって胆道閉鎖症という難病の解明をおこなう。 この研究の背景には、胆道閉鎖症は母由来の細胞が胎児に移行し、それ が胆道上皮を傷害するとの連利博医師（鹿児島大学 客員教授）の学説 がある。
該当期間・対象者	2024 年 9 月から 2 年間
研究の方法	病理診断用の標本をもちいての染色結果の解析。患者本人への影響は何も ない。
他機関への情報提供	あり（鹿児島大学医学小児外科医にて計測をおこなう）
個人情報の取り扱い	連結可能の匿名化を厳格におこなう
利益相反	なし
問い合わせ先	大谷明夫 こども病院病理診断科
備考	